

8月定例山行

赤ナメラ沢 沢登り

廿日市市飯山

8月11日(日) ☆天気：晴れ

参加者14名 CL宮木一民 SL松尾幸男
若木(一) 若木(小) 利田 滝 坂井 原田 川村 吉川(明)
宮木(澄) 中島(恵) 会友：中島(靖) ヘルパーさん

報告：毎年のごとく「クソ暑い夏は沢登りに限る!」ということで年に一度の沢登りを実行。この最近は一泊二日でテント泊をし、前夜は焼肉などで大いに夏の夜を楽しんだのだが今回は日帰りだった。自家用車4台(中島車、若木車、滝車、宮木車)に分乗し出発、スパ羅漢で全車合流し、赤ナメラ沢入口に向かう。10時よりいよいよ沢に入る。なんといっても年に一度の沢登りなので気持ちはワクワク……。連日続いている猛暑で沢の水量はウンと少ないようだが、今日の目標の一つとして「なるべく水の中を歩きとおす」をあげる。昨年の奥三段峡と比べると沢登りの“面白み”緊張感“は少ないかもしれないが、私たちにとってはこれもまた楽しい。入峡1時間少々でちょっとした滝が2～3続き少し緊張する。11時過ぎ少し広くなった河原の大きな岩の上でお昼とする。ソーメンが出来るまで

担当の人を残して他の人は更にもう少し上流まで足を延ばす。引き返してきたときはもうソーメンもすっかりできていた。具もたっぷりとても美味しい。下山はそのまま川の中を下る。途中ですっかり水に入り泳ぎを楽しんでいた人も数人いた。川での水遊びといった感じではあるがヒンヤリとした水の中を歩くのはとても気持ちがよく“楽しい!年に1回というのはもったいない!”という声があった。スパ羅漢で費用を精算し、各車ごとに広島に向かった。なお沢を上り始めてすこしして沢タビの底のフェルトがはがれるというハプニングがあった。テープなどで応急手当をしたがしばらくするともう一方の底もはがれてしまった。私がもう何年も使っていなかったのだがそれを貸してあげたのだ。登山靴といっしょですね!! (記 宮木一民)



参加者全員で記念撮影



冷たい沢もなんのその